



街なかの地ビール醸造所を見学する交流会の参加者たち

地ビール醸造業者が交流

宇都宮 全国から36社53人参加

【宇都宮】全国から地ビール醸造業者(ブルワー)が集まった「ブルワーズ交流会 in とちぎ」が28、29

日、「道の駅うつのみやろまんちっく村」などで開かれた。

同交流会は今回で5回目。これまでの4回は甲府市で行われていたが、醸造所の見学などを兼ね、栃木クラフトビール推進協議会が初めて宇都宮市内で開催した。

今回は北海道から山口県

まで36社53人が参加。初日は県産業技術センター職員による講演会や意見交換会を行った。

2日目は県内6力所の醸造所を見学。街なかで出来たての地ビールが味わえる

池上町のブルーマジック(宇都宮ブルワリー)では、参加者らが「設備の使い勝手はどうか」「レシピはどのように決めているのか」などと、中尾真仁^{なかおまこと}店長に積極的に質問していた。
(田中勝^{たなかまさる})